

いじめ・不登校対策推進事業

[251]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0101	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小中学校児童生徒 保護者 教員	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題専門委員会を設置し、いじめ問題に関わる調査研究や対策協議、いじめ重大事態が発生した場合の調査を行う。 いじめ問題対策連絡協議会を設置し、関係機関が連携・協力する。 いじめ・不登校対策委員会を設置し、いじめ・不登校の実態把握及び指導支援事業を展開する。 いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識をもつスクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置し、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援をする。 いじめ不登校対策及び発達障がい等の諸問題に対応するため、心のアドバイザー3人を教育研究室に配置し、相談業務を実施する。 小中学校における不登校の未然防止・早期対応策として、児童生徒が悩み等を気軽に話せる心の教室相談員を各小中学校に1人配置する。 県派遣のスクールカウンセラーが各中学校に1人配置されている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	小中学生が悩みを話せる場所が設置され、心にゆとりが持てるようになっている。いじめ・不登校の児童生徒及び保護者に対する教員のカウンセリング能力が向上し、指導助言により児童生徒が健全に育成されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	県スクールカウンセラーによる相談開設総時間	時間	1,242	1,242	1,248	1,251
成果指標	「心の教室相談員」への相談件数・来客者数	数	17,119	21,928	20,000	27,813
	いじめ不登校対策事業の延べ参加人数	人	450	450	450	548
事業費 計			9,779	14,766	15,423	14,642
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県		425	800	800	800
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		9,354	13,966	14,623	13,842

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 「心の教室相談員」への相談件数・来客者数は、29年度実績と比較して5,885件増加している。また、いじめ不登校対策事業の延べ参加者数も98人増加している。 (原因) 児童生徒に対するいじめ・不登校の防止対策として、気軽に相談できる相談窓口を設け、早期対応に努めている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が大きい	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	いじめ・不登校対策を推進するための相談体制等について検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会及び尾張旭市いじめ問題専門委員会を開催し、いじめ問題に取り組む体制を整えています。また、児童生徒に対するいじめ・不登校の防止対策として、心の教室相談員等、気軽に相談できる相談窓口を設け、早期対応に努めています。			

適応指導教室（つくしんぼ学級）運営事業

[252]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0102	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	不登校傾向の小中学児童生徒(1ヶ月に7日以上休む児童生徒)	・心理的・情緒的な理由による不登校傾向の児童生徒を対象に適応指導教室(平日8:30~16:45運営、指導員3名)を運営し受け入れる。(場所:中央公民館1階) 教育相談、適応相談 適応指導、訪問指導 調査研究、啓発活動 情操教育やレクリエーション(遠足等)なども実施 ・適応指導教室の相談援助活動の一環として、保護者の派遣申請を受けて、校長が派遣申請をした不登校傾向の児童生徒に対し、相談員としてメンタルフレンド(予め市に登録された大学生等)を家庭に派遣する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
・児童生徒を集団生活への適応を促すため、学校への復帰を支援する体制が整っている。 ・児童生徒の社会的立ち直りを側面的に支援している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	通室児童生徒数	人	25	11	16	10
	メンタルフレンド登録者数	人	7	6	5	8
成果指標	適応指導教室の通室児童生徒数/不登校傾向の小中学児童生徒数	%	39	12	19	9.5
	メンタルフレンド派遣回数	回	214	206	180	159
事業費 計			723	707	663	601
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	723	707	663

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 不登校傾向の児童生徒を適応指導教室に受け入れ、児童生徒や保護者に対して各種支援を行うことで、集団活動への適応を促すことができている。また、不登校児童生徒の家庭へメンタルフレンドを派遣することにより、児童生徒の社会性の向上が図られている。 (原因) 通室を希望する児童生徒数に大きな変化はないが、不登校傾向の児童生徒数が増加している。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育・部活動推進事業(小学校)

[249]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0201	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童	小学校の部活動における技術的指導補助を行う外部講師を派遣する(1時間2,000円、1校あたり33時間)。 小学校の金管バンドに対し、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を外部から派遣する(1校あたり2回)。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	愛知県教育委員会がH30.9に策定した「部活動ガイドライン」に基づき、本市における部活動指導全般に関する総合的な指針となる「尾張旭市部活動指導方針」を策定し、H30.12に各小学校へ通知した。
	児童がより部活動に興味を持って取り組み、部活動が活発化している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	外部講師派遣時間数	時間	270	270	300	266.5
成果指標	部活動参加児童数の割合	%	82	87	88	82
事業費 計			889	890	950	845
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	889	890	950

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 児童が部活動に興味を持って取り組んでいるが、H29年度実績と比較して部活動参加児童数の割合が5ポイント低下している。 (原因) 部活動参加児童数の割合が5ポイント低下している直接的な原因は不明だが、引き続き外部講師を派遣することで部活動の活発化を図る。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が大きい	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育・部活動推進事業(中学校)

[250]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0202	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生 教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動を指導する部活動指導員(臨時職員)を派遣する。(H30~) 1人180時間 H30 4人 <県補助対象事業> ・中学校の部活動を対象として、必要に応じて技術指導補助を行う外部講師を派遣する。 謝礼 2,000円/時間 1校あたり508時間
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の吹奏楽部に対して、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を派遣する。 1校あたり4回派遣 ・部活動の支援として、大会参加費、自動車借上料等を支給する。 <p>愛知県教育委員会がH30.9に策定した「部活動ガイドライン」に基づき、本市における部活動指導全般に関する総合的な指針となる「尾張旭市部活動指導方針」を策定し、H30.12に各中学校へ通知した。</p>
生徒がより部活動に興味をもって取り組み、部活動が活発化している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	外部講師派遣時間数	時間	1,755	1,899.8	1,524	1,524
	部活動への支援額	千円	4,736	5,479	6,404	6,514
成果指標	部活動参加生徒数の割合	%	91	91	91	89
	支援率	%	100	100	100	100
事業費 計			4,736	5,479	6,404	6,514
財源内訳		ア 国				
		イ 県			808	1,987
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,736	5,479	5,596

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 多くの生徒が部活動に興味を持って取り組んでいるが部活動参加生徒数の割合がH29年度実績と比較して、2ポイント低下している。 (原因) 部活動参加生徒の割合が低下した直接的な原因は不明だが、H30年度から部活動指導員を各中学校に派遣していることから今後、部活動がより活発化することが期待される。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童健康安全事業(小学校)

[261]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0203	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	小学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 各小学校に学校医(内科、眼科、耳鼻科)、学校歯科医及び薬剤師を置く。 学校保健安全法第13条に基づき、健康診断を行う。 尿検査(全学年)、心電図検査(小1、4)、結核検査(必要者のみ)を検査機関に委託する。 学校の管理下における児童の負傷・障害・死亡等にかかる災害共済掛金を支払つ。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	小学生が健康で学校生活を送ることができている。 小学生の負傷等の傾向を調査し、負傷する児童の数を少なくして、児童の健康の保持増進となる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	検査参加人数	人	4,934	4,947	4,863	4,854	
成果指標	受診率	%	100	100	100	100	
	医療機関受診率			52	55	56	
事業費 計			41,760	42,037	41,910	41,148	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	41,760	42,037	41,910	41,148

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、児童の健康の保持増進を図ることができている。 治療勧告書(受診のおすすめ)を配布した児童が医療機関に受診した割合が4ポイント向上している。 (原因) 医療機関への受診に対する児童・保護者の意識が向上したため。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

生徒健康安全管理事業(中学校)

[262]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0204	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	中学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順) 各中学校に学校医(内科、眼科、耳鼻科)、学校歯科医及び薬剤師を置く。 学校保健安全法第13条に基づき、健康診断を行う。 貧血(全学年)、尿検査(全学年)、心電図検査(中1)、結核検査(必要者のみ)を検査機関に委託する。 学校の管理下における生徒の負傷・障害・死亡等にかかる災害共済掛金を支払う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	中学生が健康で学校生活を送ることができている。 生徒の負傷等の傾向を調査し、負傷する生徒の数を少なくして、生徒の健康の保持増進となる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	検査参加人数	人	2,432	2,352	2,382	2,314
成果指標	受診率	%	100	100	100	100
	医療機関受診率	%		34	35	31
事業費 計			18,306	17,928	18,219	17,705
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	18,306	17,928	18,219

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、生徒の健康の保持増進を図ることができているが、治療勧告書(受診のおすすめ)を配布した生徒の医療機関受診率が3ポイント低下している。 (原因) 各学校における治療勧告書(受診のおすすめ)の配布方法等の変更を行っていないため、医療機関への受診に対する生徒・保護者の意識の低下が考えられる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が大きい	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校体育支援事業

[266]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0205	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所に委託料を支払い、小中学校の体育事業の運営を委託する。 事業内容：学校体育研究会・講習会の開催、学校体育管理に関する研究調査、中小学校生徒児童の体育大会の開催 ・市教委及び愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所が主催する小学校陸上記録会及び小学校球技大会の入賞者に対してメダルを授与する。 ・愛知県中小学校体育連盟に負担金を支払う。 ・瀬戸市中小学校体育連盟と共催で中学校総合体育大会瀬戸・旭地区大会を実施し、その経費分担金を支払う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒の体力が向上している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所への委託事業メニュー数	数	4	3	3	3
	愛知県中小学校体育連盟会費等負担金	千円	220	612	609	609
成果指標	小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数	人	658	653	660	660
事業費 計			1,254	1,272	1,269	1,276
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,254	1,272	1,269

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数はほぼ横ばいである。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

児童生徒健康管理事業

[236]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0206	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健診を実施する。 ・小学校2・4年生と中学校1年生を対象に年1回知能テストの検査を実施する。 ・市学校保健会に学校保健事業を委託する。 事業内容：尾張旭市の小学校及び中学校における保健衛生の普及啓発、学校保健に関する調査・研究、学校保健に関する事業の企画・実践、学校保健関係者の研修
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒が健康で学校生活を送ることができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健診療結果通知負担金 瀬戸旭医師会 1,000,000円(H30に増額) 尾張旭市歯科医師会 500,000円(H30に増額) 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	検査参加人数	人	7,366	7,299	7,245	7,168
成果指標	受診率	%	100	100	100	100
事業費 計			2,916	3,260	4,394	5,131
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		1	1	1	765
	オ 一般		2,915	3,259	4,393	4,366

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校保健安全法の規定により必要な検査を実施することができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校給食センター事業

[1190]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0301	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

対象(誰、何に対して事業を行うのか)
 ・市内小中学校児童生徒
 ・学校給食センター
 ・市民(食育関連)

意図(対象をどのような状態にしたいのか)
 ・安全でおいしい給食を食べ健やかに成長している。
 ・市及び委託業者により適正に運営されている。
 ・健全な食生活を実践している。(食育関連)

手段(事務事業の内容、やり方、手順)
 ・平成22年9月、学校給食センター稼働。
 ・学校給食センターの調理業務等の民間委託を平成22年8月1日から平成25年7月31日までと、平成25年8月1日から平成30年7月31日までを長期継続契約として行っており、平成30年8月1日からも引き続き行った。
 ・安心で安全な学校給食を提供するため、引き続き、市が献立の作成、食材の購入、調理の指示・確認を行い、食の安全・安心を確保したうえで、民間企業に調理業務及び配送業務等を委託し、その中で専門的な知識・技術を活用し、業務の効率化を図り、経費を削減する。また、給食センターを中心に委託業者と連携し食育への取り組みの充実を図る。
 ・アレルギー対応食は、対応アレルゲンを卵と乳について除去食・代替食を実施している。
 ・食育事業として、市民を対象とした、講演会や給食試食会を開催している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	調理した食数(年間給食回数)	食	1,379,593	1,369,518	1,385,000	1,352,893	
	調理したアレルギー対応給食数(卵、乳)	食	3,737	4,800	7,000	4,476	
成果指標	残滓量	kg	52,238	48,689	55,000	50,193	
	アレルギー給食の提供率	%	100	100	100	100	
事業費 計			439,691	469,057	488,551	467,399	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		330,069	355,690	370,494	351,282
		オ 一般		109,622	113,367	118,057	116,117

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	食べ残しが減るように、味付けの工夫や新しいメニューを加えるなどを行っている。 また、アレルギー対応給食は保護者、学校と連携を図り、確実に提供している。
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	給食配送車の老朽化を踏まえ、車両の更新等に関する方針を検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

厨房機器も含めた、更新計画の策定に向けて、更新方法の比較検討を行った。

学校給食センター維持管理事業

[1222]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0302	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校給食センターの施設及び設置機器	平成25年度から学校給食センター運営事業(21-0301)の施設維持管理部門として事業の区分を行い、その経費を移行した。 安全で安心な学校給食を安定的に提供するため、施設や設備機器の監視点検及び修繕を実施する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	(主要活動内容) 施設、機器等修繕...不具合の発生した施設及び設備機器の修繕を実施 空調設備保守点検委託...空調設備の保守点検、調整、清掃等を実施 給湯設備保守点検委託...給湯設備の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施 昇降機保守点検委託...昇降機の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施
	調理業務等が支障なく行えるよう適切に維持管理され、重大な事故等が発生せず、安全性が保持できている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	施設・設備・機器修繕件数	件	37	30	20	36
	各種維持管理業務外部委託金額	千円	10,120	10,973	11,606	10,956
成果指標	機械設備の重大な不具合発生件数	件	0	0	0	0
事業費計			50,657	55,890	75,355	74,652
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	50,657	55,890	75,355

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調	(状況)修繕件数はほぼ横ばいであるが、業者による点検において、今後、経年劣化による不具合が生じる箇所があるとの報告を受けている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	職員や調理業務等委託業者による日常点検や専門業者による年3回の定期点検により、給食の提供を維持するため、適切に管理を行った。		

中学生海外研修事業

[285]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0902	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市立中学校3学年在校生	オーストラリアのヴィクトリア州ウィットルーシー市へ中学校3年生(12人)及び随行者(2人)が、9泊10日で訪問し、現地の中学校に体験入学・ホームステイを行う。 (費用負担:保護者5割 市費5割) ・応募者から、作文と面接による1次選考を行い、選考された生徒の中から抽選で参加生徒を決定する。 ・事前に保護者を含む説明会及び参加者の研修を実施する。 ・出発日には激励の出発式を行う。 ・帰国後に報告会を行うとともに報告書を作成する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・参加生徒がホームステイや現地校への体験入学を通じ、外国の文化等に触れることにより、幅広い視野と国際感覚が育っている。 ・参加生徒の体験報告により、他の生徒も外国を身近なものとして興味をもっている。	H22年度は市制40周年を記念して、ウィットルーシー市セカンダリーカレッジの学生15名を本市へ招いた。 H29年度は中学生海外研修第25回目となり、市長が研修に同行した。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	生徒の研修日数	日	10	10	10	10
	参加生徒数	人	12	12	12	12
成果指標	ホームステイをして、よかったと思う生徒割合	%	100	100	100	100
	対象生徒に占める応募生徒の割合	%	7	12	7	6.7
事業費 計			3,878	3,608	3,878	3,716
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,878	3,608	3,878

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 研修参加後の生徒アンケートでは、全員が有意義な研修であったとの回答であった。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

就学児童・生徒調査事業

[286]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0903	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	バッチ処理により学齢簿の作成。 就学児童・生徒の通知書の作成。 児童・生徒に係る異動の把握と学齢簿の作成。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			931	977	934	928
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	931	977	934

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

小学校入学・卒業報償事業

[288]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0904	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校1年生、6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生に入学式の日記念品として帽子を贈呈する。 ・小学校6年生に卒業式の日記念品として英和辞典を贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
小学校への入学あるいは卒業をするときに、記念品を受け取ることにより、新小 小学校生活の安全と、中学校での勉強の役 に立っている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	入学式記念品の購入数	個	834	757	785	784
	卒業式記念品の購入数	個	823	839	845	825
成果指標	入学式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100
	卒業式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			2,145	2,005	2,200	2,081
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,145	2,005	2,200

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 児童が入学記念品及び卒業記念品を適切に受け取ることができている。
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

中学校卒業報償事業

[289]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0905	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校3年生	中学校3年生に卒業式の日に記念品として、卒業証書ホルダーを贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
中学校を卒業することにより義務教育が終了し、卒業式を終え、その節目になるものとして記念品を受け取ることで卒業の喜びを深め、新生活で活用している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	記念品の購入数	個	865	830	775	780
成果指標	記念品を受け取った生徒の割合	%	100	100	100	100
事業費計			337	354	356	312
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	337	354	356

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 生徒が卒業記念品を適切に受け取ることができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

学校指導事務

[294]

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0908	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	学校 教職員	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	指導主事派遣にかかる負担金を愛知県との協議により2分の1負担 (28年度から2人目・3人目は3分の2負担) 平成30年度までの暫定措置。平成31年度から、3人目の指導主事は市が直接採用する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		派遣人員:3人	
	学校運営が適正に行われている。		指導主事3人を教育委員会事務局教育行政課へ配置 ・管理指導主事 ・教育行政課指導主事(2人) 定例会での指導伝達(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会) その他随時指導	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	派遣指導主事の人数	人	3	3	3	3
成果指標						
事業費 計			16,103	16,601	16,415	18,281
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		16,103	16,601	16,415	18,281

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-